



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

北陸新幹線延伸に湧く敦賀。

歴史地理学者がよみとく水陸交通の時代的変遷

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

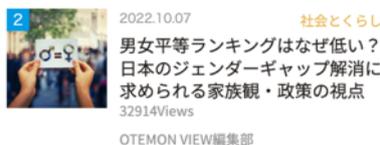
<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

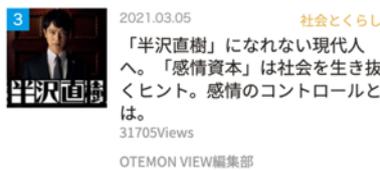
「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。



2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
56020Views
OTEMON VIEW編集部



2022.10.07 社会とくらし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
32914Views
OTEMON VIEW編集部



2021.03.05 社会とくらし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
31705Views
OTEMON VIEW編集部



2020.08.24 ところから
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
21731Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

2024年3月16日に北陸新幹線金沢 - 敦賀間が延伸開業します。新たな終着駅となる敦賀は、過日 NHK『ブラタモリ』でも紹介されたように、古代には海外から使節を迎える重要な国際港であり、奈良・京都の都に物資を運ぶ重要な交通拠点でした。

今回は同番組で案内人を務めた南出眞助名誉教授が、水陸交通の面で敦賀の果たしてきた役割、北陸新幹線の延伸開業に向けた想いを、歴史地理学の観点から解説します。

(以下は主なポイント)

港灣から見る敦賀

○古代から大陸に開かれた玄関口・敦賀の果たしてきた役割

○研究であきらかになった古代敦賀津の復原図

陸路から見る敦賀

○日本海側初の鉄道が敷かれた敦賀

○近世の物資と文化を繋いだ「動く総合商社・北前船」との関わり

○パリ行きの連絡列車が運行開始。敦賀を走る鉄道は海を越えた

敦賀の現状と展望

○日本海側の敦賀はフィーダー港へ転換

○北陸新幹線の延伸開業と敦賀のこれから

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3228/>



記事イメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 仲西・織田